

4年間(H28～31)の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の実態やニーズに応じた教育内容を、小学部から高等部まで系統的に再編成した教育課程を実践していく。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の視点から作成された指導項目例一覧に基づいた教育実践を行っていくと共に指導モデルの充実を行う。 教材研究を行い、小学部から高等部まで系統的に蓄積する。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒一人ひとりに応じたきめ細かい指導・支援を組織的に行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別教育計画を日々の授業に活かせる工夫を継続する。 アセスメントとケース研究会を行うことで、一人ひとりの児童・生徒の理解を深める。 専門性を高める研修を系統的に実践する。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒が地域で豊かに生きていくために、本人及び保護者のニーズに応じたキャリア教育を行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> 人と人との関わりを大切にしながら主体的に学べるよう学習活動を行う。 保護者及び教職員が、小学部段階から児童・生徒の将来の生活をイメージできるような取組を整える。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 共生社会の実現に向け、地域との相互資源活用や理解推進に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の学校や福祉機関等と連携して余暇支援を行う。 組織的にセンター的機能に取り組む、地域と本校の相互の資源を活用しながらインクルーシブ教育を推進する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な学校であるための体制の整備を進める。 人権を大切にした「支え合い学び合い」の職場づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全に関わる各種マニュアルを再整備し、研修や訓練を通して教職員に徹底を図る。 「武養教育宣言」を教育実践に具現化していくシステムを構築する。 互いの校務を共助し円滑な業務の遂行を図る。